

WAMは福祉と医療の民間活動を応援します

令和元年7月24日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 岐部 宏幸
経営サポートセンター リサーチグループ
グループリーダー 吉崎 奈美
担当 橋 (電話) 03-3438-9932
(FAX) 03-3438-0371

平成 29 年度 児童系障害福祉サービスの経営状況に関するリサーチレポートについて

独立行政法人福祉医療機構では、福祉医療貸付事業の債権管理の一環として、毎年度、融資先からご提出いただく財務諸表等を基に、社会福祉法人や医療法人、福祉・医療施設等の経営状況について集計・分析しています。

このたび、平成 29 年度の児童系障害福祉サービス（児童発達支援・放課後等デイサービス）の経営状況について、リサーチレポートをとりまとめました。

詳細はホームページに掲載しております。

〈リサーチレポート〉 <https://www.wam.go.jp/hp/keiei-report-r1/>

リサーチレポートの概要

- 児童発達支援の収支状況については、サービス活動収益対サービス活動増減差額比率は 6.3%であり、全体の 32.2%が赤字*施設であった。
- 放課後等デイサービスの収支状況については、サービス活動収益対サービス活動増減差額比率は 10.4%であり、全体の 32.2%が赤字施設であった。
- いずれのサービスにおいても、赤字施設は黒字施設と比較して利用率と利用者 1 人 1 日当たりサービス活動収益が低く、従事者 1 人当たり人件費が高い傾向がみられた。
- 赤字施設においては、利用率の向上と加算算定等による収益の安定化が重要であると考えられる。

* 経常増減差額が 0 円未満

以上